



「防災の日・防災週間」

防災の日及び防災週間の趣旨について、内閣府の防災情報のページには次のように記載されています。

我が国は、その位置、地形、地質、気象等の自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、高波、竜巻、暴風、がけ崩れ、土石流、地すべり、地震、津波、火山噴火等による災害が発生しやすい国土となっている。

昨年度は、7月1日からの大雨により発生した静岡県熱海市の土石流災害を始め、全国各地で土砂災害や浸水被害が発生し、多数の者が犠牲となった。

こうした我が国の国土の特徴に鑑み、政府、地方公共団体等防災関係諸機関を始め、広く国民が、前述の災害についての認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資するよう、「防災の日」（9月1日）及び「防災週間」（8月30日から9月5日まで）を設けることとしている。



本校では、今週2つの防災に関わる行事が開催されます。「いざ」というときに、適切な判断と行動ができるよう、行事のねらいを理解し、防災学習を意味あるものにしてほしいと思います。

【自衛隊による防災講話9/1】

- ねらい
災害についての理解を深め、災害に備える意識を高めるとともに、災害発生時に適切な判断と行動ができるようにする。
- 主な内容
(1) 防災講話（自衛隊の役割及び活動内容、近年の主な災害派遣活動、地震発生時の心構え及び的確な行動）
(2) 体験的学習（①護身術②救急法③車両見学）※学年ごとにコーテーションします。

お願い 救急法で止血体験がありますので、三角巾又は薄手の長いタオル（なければ普通のタオル）を持参してください。

【由利本荘市総合防災訓練9/3】

- 訓練の目的
この訓練は、由利本荘市地域防災計画に基づき、大規模地震災害を想定して、防災関係機関と市民の参加協力のもとに実施するもので、防災体制の強化と防災意識の高揚を図る。
- 訓練想定概要
基地由利断層を震源とするM7.8の大規模地震が発生し、由利本荘市は最大震度7を観測、秋田県沿岸に大津波警報が発令。由利本荘市は災害対策本部を設置し、災害応急対策を開始する。
- 避難所の開設
由利本荘市は大内中学校を避難所として設営し、給水車派遣を要請する。大内中学生や教職員、女性消防団員の協力のもと、避難所運営訓練を実施。
- 訓練の内容
(1) 避難訓練及び避難所運営訓練（3年生による給水、テント設営、受付、応急手当訓練）
(2) 女性消防団による防災講話



北由利断層